

昨年1月19日から始めた血圧測定は、今年の3月10日までに延べ13,108人に達しました。図は青線が正常、赤線が前症高血圧、緑線が高血圧症の患者の割合のグラフです。今年も1月中旬から急激に気温が上がってきて、Week10（3月の第1週）には既に一日の最高気温が30℃まで上がっています。アーナンダ病院には冷暖房設備が天井のシーリング・ファンしかなく、気温と正常血圧値との相関係数は0.9以上と強い相関を示しています。このような明確な気温との相関が現れる地域は途上国の農村部しかなく、アーナンダ病院のように農村部に存在し、貧困層の住民に奉仕するような病院で、かつ携帯電話のインフラでも安定して血圧データを伝送する仕組みを使わないと得られない貴重なデータと言えます。

Total n= 13,108 (from 2012.1.19 to 2013.3.10)

